

違法伐採・違法木材貿易と その対策

2014年9月1日 エシカル購入委員会

レインフォレスト・アライアンス 認証部
富村ちさと



自己紹介



- ▶ 森林科学修士 (Yale University '08)
- ▶ レインフォレスト・アライアンス アジア太平洋地域事務所で4年間森林認証・合法性検証サービスを担当。
- ▶ FSC森林認証、合法由来 (VLO)、合法性検証 (VLC) 主任監査員。炭素削減プロジェクト監査員。
- ▶ 日本、中国、インドネシア、マレーシア、ベトナム、タイ、ラオス、シンガポール、インド、パプアニューギニア、オーストラリアで40以上の審査・監査を経験。



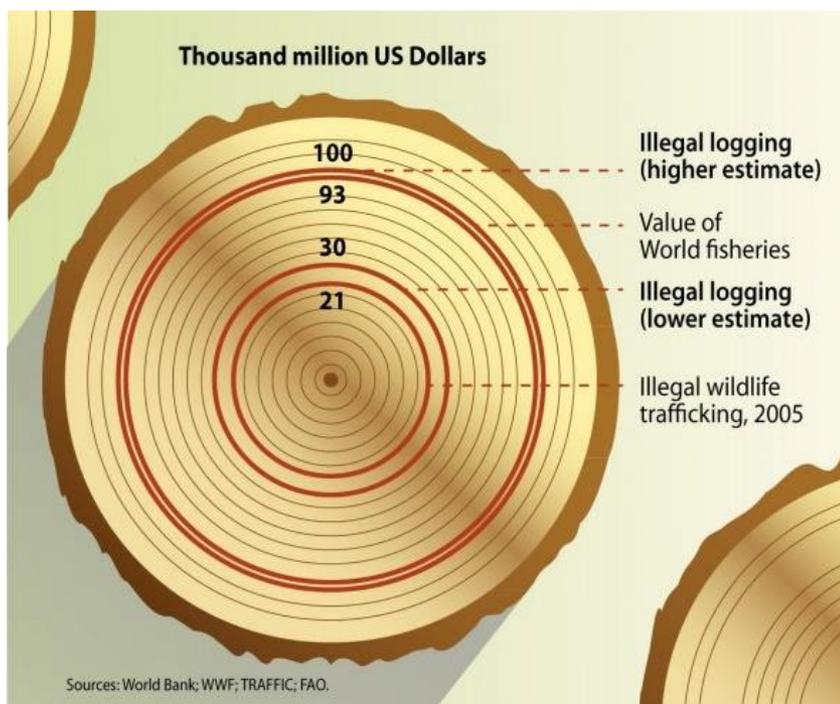
違法伐採と取り組み

1. 違法伐採・木材貿易の現状
2. 取り組み・対策
3. 個人的見解・提案



違法伐採の規模

- 世界で取引されている木材の20-40%が違法木材
- 年間3000万～1億ドル（30億～100億円）



- 違法伐採の推定額（高）
- 世界の漁業の総額
- 違法伐採の推定額（低）
- 野生生物の違法取引額

<http://www.temoignages.re/from-illegal-logging-to-timber-laundering-organized-crime-trade-worth-over-us-30-billion-responsible-for-up-to-90-of-tropical-deforestation,59068.html>



各国の木材輸出に占める違法木材の推定割合

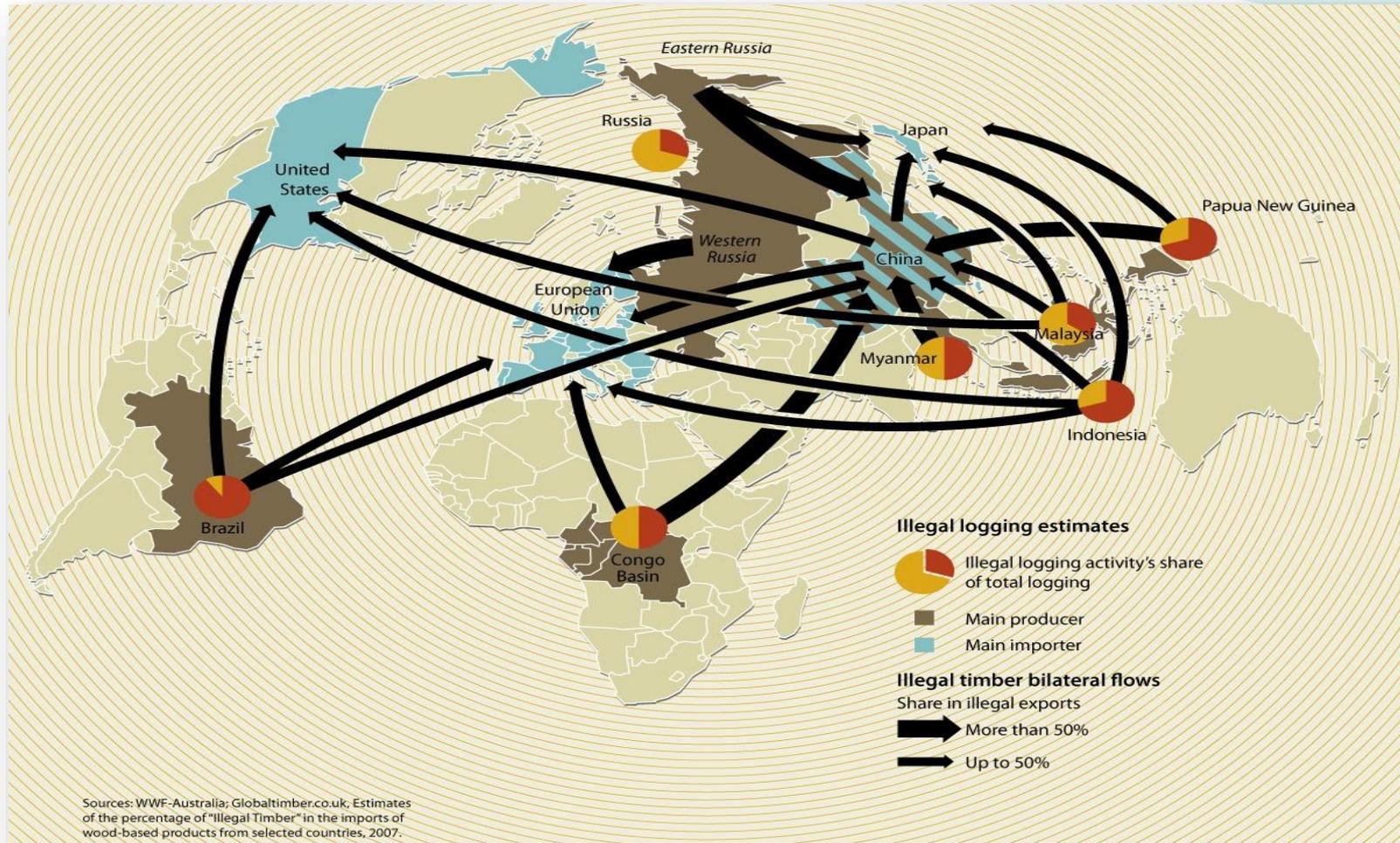


Source: based on estimates from <http://www.globalltimber.org.uk/IllegalTimberPercentages.doc> except Colombia (World Bank estimate).

http://www.ran.org/the_waxman_markey_bill_a_step_forward_for_redd



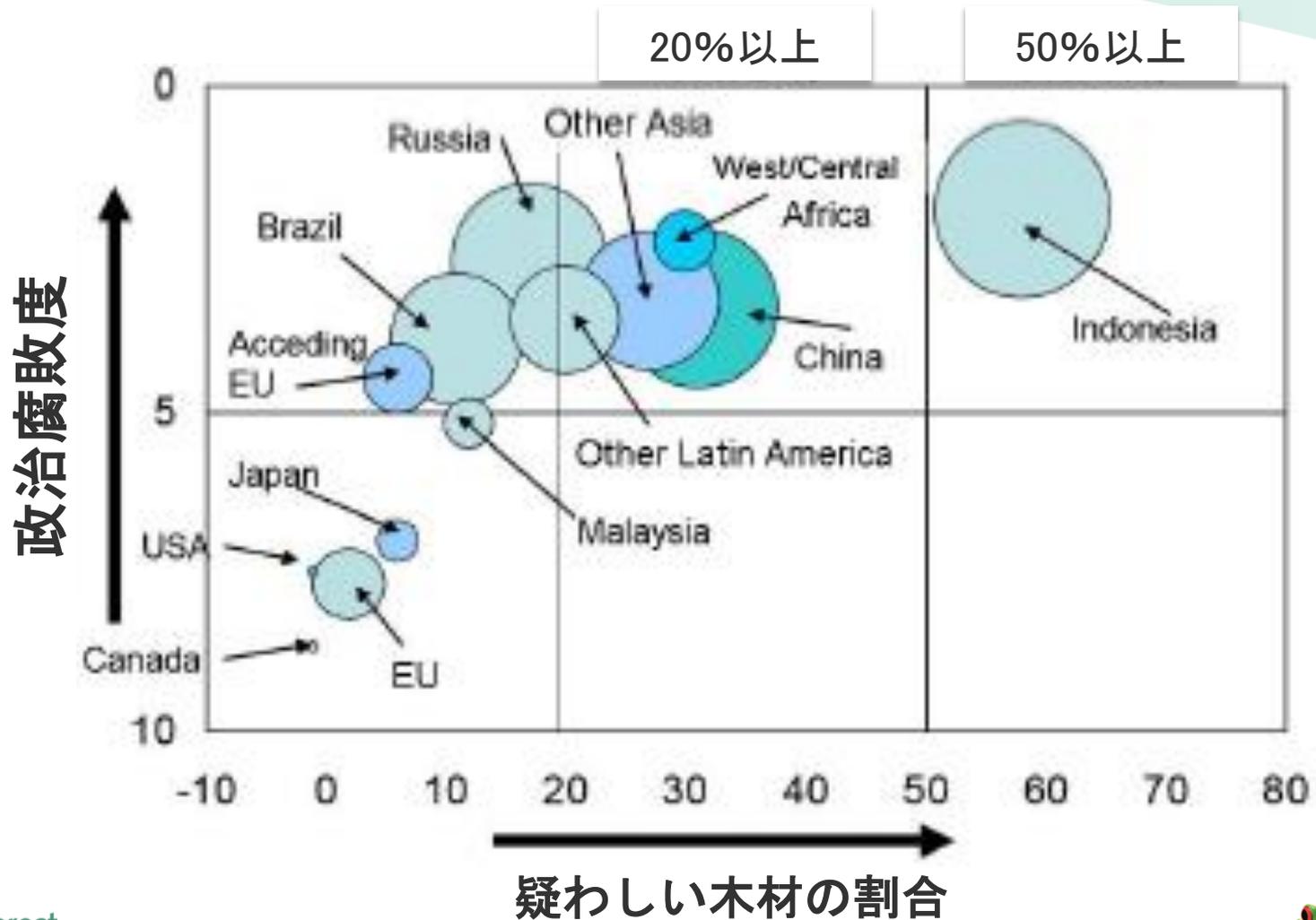
違法木材の流れ



Sources: WWF-Australia; Globaltimber.co.uk. Estimates of the percentage of "Illegal Timber" in the imports of wood-based products from selected countries, 2007.



違法伐採と汚職



違法伐採の手口

- コンセッションや伐採許可発行に関する不正
- 地域住民の権利の侵害
- 必要な環境配慮の無視
- 伐採許可地域外・保護地域からの伐採
- 保護樹種の伐採
- 許可を超える量の伐採
- 違う樹種の申告
- 申告漏れ
- 脱税



違法伐採へのレスポンス



CertiSource



- **NGO**

- 違法木材反対キャンペーン
- 認証システムの開発、推進



BUREAU
VERITAS

- **民間企業**

- 自主的調達方針の策定

- **政府**

- 行政政策（調達方針など）
- 立法（米国レイシー法、欧州木材法など）



Meets Rainforest Alliance
requirements for
Verified Legal Compliance



各国政府の対応：米国



- レイシー法改定（2008年）
- 外国の法律に違反して伐採・取引された木材の取り扱いは米国法の下で違法となる
- デューケア（義務的注意）の義務
- デューケアについて具体的な指示はなし



米国レイシー法

- 事実ベースであり、文書ベースではない
- いかなる文書も合法性の完璧な証拠とはならない
- 違反は刑事法により起訴の対象
- 違反者の起訴には当局が違法性を証明しなければならない
- デューケアを怠った場合、違反は厳罰化
- 取締例：ギブソンギター（2012年8月）



各国政府の対応：EU



EU FLEGTプログラム

FOREST LAW ENFORCEMENT, GOVERNANCE AND TRADE

森林法施行・ガバナンス・貿易

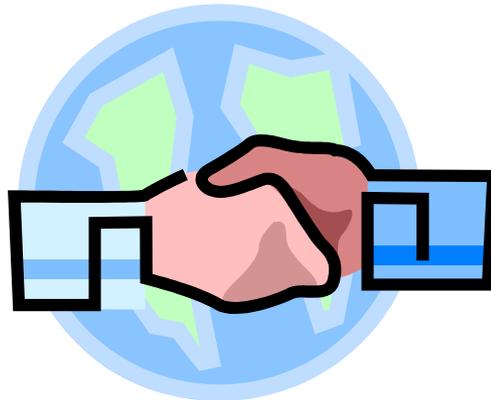
2003年 FLEGT行動プラン

- 政府調達ポリシー
- 自主的・二国間協定（VPA）
- 違法木材取締法（欧州木材法、EUTR）2013年施行

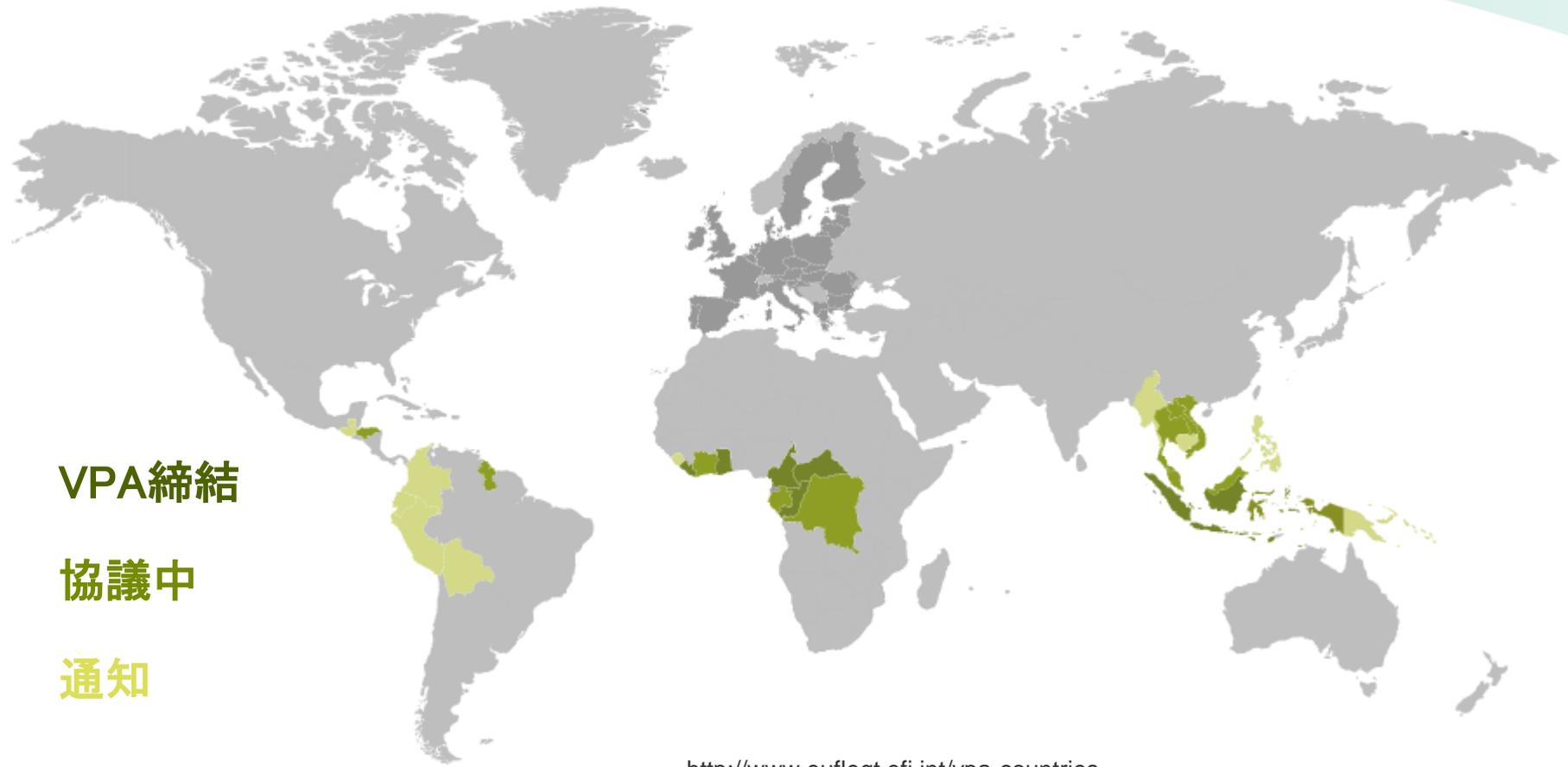


自主的二国間協定（VPA）

- EUと木材生産国が協定を結び、協力してTLAS（木材合法性保障システム）を作り上げる
- TLAS完成後には、TLASで合法性の審査に合格した組織にパートナー国の政府がライセンスを発行。



VPAの進捗状況



VPA締結

協議中

通知

<http://www.euflegt.efi.int/vpa-countries>



欧州木材法（EUTR）2013年3月施行

米国レイシー法との類似点：

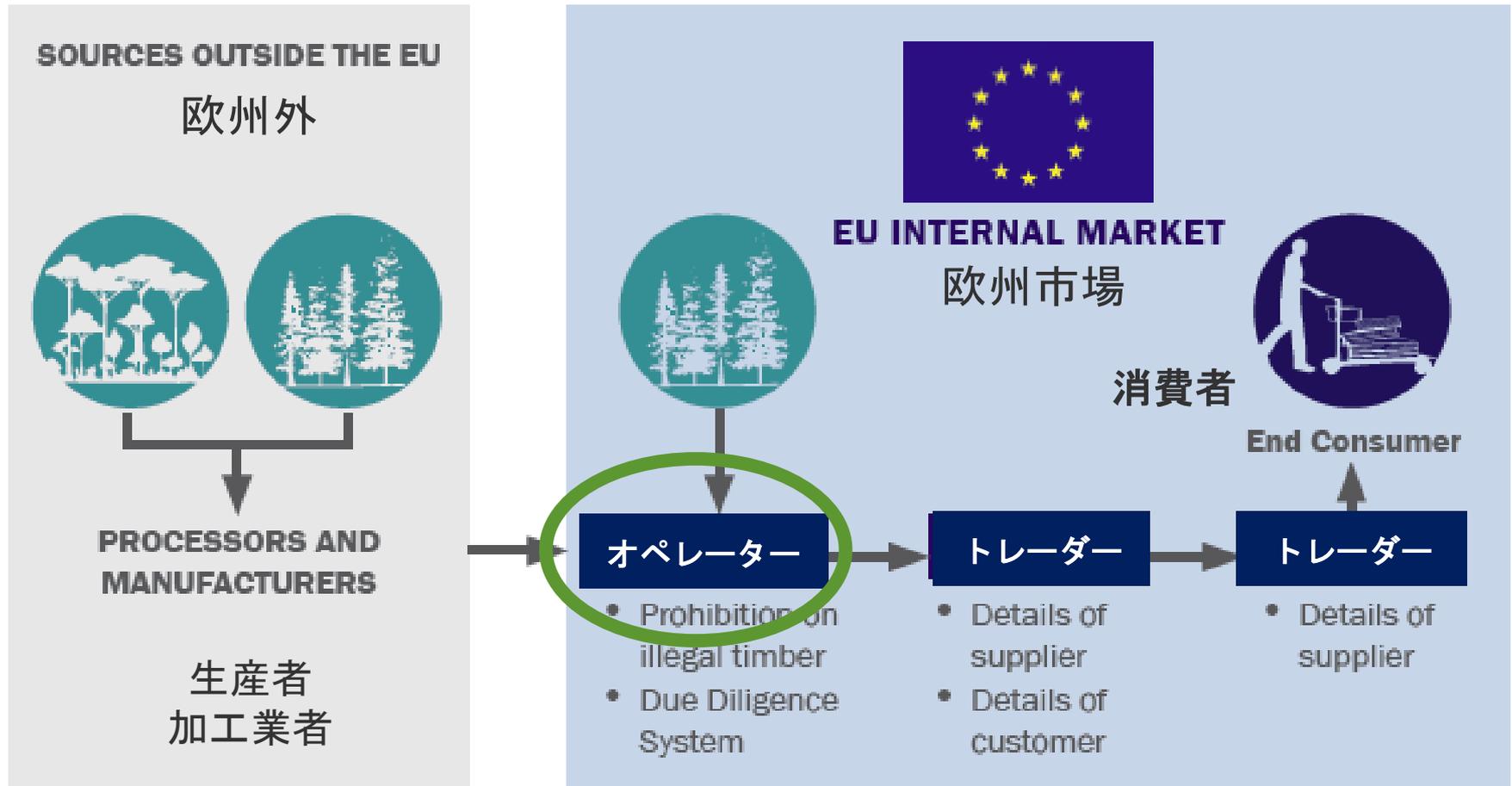
- EUにおいて違法木材の取引を禁止
- 合法性の定義に外国の法律も含まれる

相違点：

- レイシー法よりも具体的な義務（デューデリジェンス）
- 施行（違反の取締り）は加盟国による → 国による差
- レイシー法よりも幅広い影響



欧州木材法におけるデューデリジェンス



Source: ProForest



欧州木材法におけるデューデリジェンス

- デューデリジェンス（オペレータの義務）：
 1. 情報入手（原産地・樹種・認証の有無etc.）
 2. リスク評価
 3. リスク低減措置
- サプライチェーンの全てについてデューデリジェンスシステムを確立し、違法性が低リスクのものしかEUに輸入してはならない

合法性の定義（EU木材法）

- 合法的に区画された境界内で木材を収穫する権利
- 森林管理に関する規定（環境、生物多様性保護の規定を含む）
- 木材収穫権および収穫木材に関連する税の支払い
- 木材収穫に影響される第三者の法的土地利用権や所有権
- 貿易および輸出入に関する法律



法律・行政自体の問題

- 森林に関する法律が整っていない
- 現状に合わない無理な法律
- 地方行政官や現場の職員の裁量に任されている
- 国土調査が行われていず、土地の所有権・利用権が不明確
- 利害関係者の意見を聞かずに作られた法律
 - 地元住民が行政により認知されていない
- 国と地域レベルの法律の矛盾
- 縦割りで作られた規則の矛盾
- 行政と司法の矛盾

まとめ

- 私たちが輸入している多くの木材が違法木材
- 日本の違法木材対策は遅れている
- 合法、違法は白黒ではない
- 違法木材と行政の透明性は深く関連しており、法律や行政制度自体に問題があることも多い
- 合法証明のハンコだけを求めるのは、グリーンウォッシングを助長することにもなる



私からの提案

最低限の合法性を求めるよりも、信頼されたシステムで認証された木材を！



FOREST STEWARDSHIP COUNCIL
Setting the Standard for Responsible Forestry

森林管理協議会





Rainforest Alliance

The Rainforest Alliance works to conserve biodiversity and ensure sustainable livelihoods by transforming land-use practices, business practices and consumer behavior.